

北中かわら版

「北中かわら版」は地域医療連携のための広報誌です

平成30年度イベント第2弾

クリスマス会

日時

12月13日(木)

午後3時～3時45分

北陸中央病院理念

「人間愛に基づいた医療を通じて
社会に貢献します。」

基本方針

1. 安全には細心の注意を払い、安心の医療に努めます。
2. 心のふれ合いを大切にし、人権を尊重します。
3. 情熱と生き甲斐をもち、常に前進を図ります。
4. 小矢部市の中核病院として急性期と地域医療の共存を果たします。
5. 公立学校共済組合員や地域の人々の健康管理事業に力を注ぎます。
6. 健全な経営に努めます。

●発行は、2, 3, 5, 6, 8, 9, 11, 12月です。「あいの風ほぐりく」が発行される月はお休みをいただきます。

●次回は平成31年2月発行を予定しています。



毎年恒例の「北陸中央病院クリスマス会」も今回で9回目となりました。

職員有志で結成される「ハンドベル友の会」によるトーンチャイムの美しい音色で、会場全体はクリスマスらしい雰囲気になりました。

また、『院長サンタ』によるミニコンサートが開かれ、『淳ちゃんバンド』の演奏に合わせて、病院長自慢ののどを披露しました。

病院長の歌を聞くために、入院患者さんだけでなく外来患者さんなどたくさんの方が来院されました。

クリスマス会の様子は、12月24日から1週間おやべケーブルテレビで放送されますので是非ご覧ください！

金沢大学との共同臨床研究のご紹介(北國新聞に掲載されました) 「生活習慣病に対するオンライン保健指導サービスの構築と 行動変容への検証研究」



北陸中央病院内科医師 & 金沢大学医学部附属病院助教

大家 理恵

特定保健指導とは？現場の課題

特定保健指導では、おなか周りが大きめで血圧や脂質に軽い異常が見られる場合に、保健師または栄養士が面談して一緒に行動目標を立て、6ヶ月後に達成状況をお聞きしています。「体重のグラフが少しずつ下方へ向かうのが励みになった」という感想を頂き我々スタッフもうれしく思うことがある反面、困難もあります。対象者の多くが働き盛りで、お仕事やそのストレスを抱えながらの取り組みなので継続が難しいのです。実際、当院の特定保健指導で6ヶ月間の記録を続けてくださる方の割合は約半分。減量や運動の必要性はわかっているけれど継続は難しいというのが現場の課題と言えます。

体重や歩数、血圧を楽しく便利に記録

日々の体重や食事の記録を無理なく、楽しみながら続ける方法として注目されているのがスマホに連動する測定機器です。いつでも記録が可能で、記録された歩数や体重、血圧値はグラフで“見える化”されます。近年進歩した人工知能による画像解析で食事を判別し栄養評価が得られます。記録の主体はご自分ですが、家庭や職場で、いつでも記録する条件を整えることで、何

気なくやり過ごしている生活の中で気づきと変化をもたらすのではないかと期待しています。

スマホが苦手という方には

スマホは苦手という方には、連動しないタイプの自宅用の血圧計と体重計だけを本研究事業でお貸しすることができます。日々の生活をコツコツ記録するには紙媒体の方がいいという方に向いています。どのような方がどのような方法で行動変化が起こりうるかを観察させていただきたいと思っています。

将来の生活習慣病管理

将来、スマホや通信機器が生活習慣病分野にも普及することによって何が変わるでしょうか？人的コスト削減や効率化だけではありません。自分の検査データを自分で記録・管理し、それに基づいて治療方針についても自分の意見が言いやすくなります。糖尿病や高血圧のような生活習慣病は疾病を持ちながらもその人に合ったやり方で付き合っていく期間が長くあります。年余にわたる慢性疾患との付き合いにおいて、ご本人が主体となって治療に参加していただけるような仕組みに少しずつ近づけたら幸いです。

お申し込み窓口

治療に参加いただけるのは 北陸中央病院で特定健診を受け、保健指導の対象となった方（すでに服薬中の方は除かせていただきます）です。研究参加による料金や検査の追加はありません（半年後に脂質採血に協力して頂くことがあります）。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指

針」に基づき、個人情報は厳重に保護する体制をとっています。ご興味のある方は気軽にお問い合わせください。

Kanazawa-SLIM Study事務局

E-mail: dm2ken@icloud.com

富山県小矢部市野寺123

公立学校共済組合 北陸中央病院

健康管理センター(ドック棟)内

Webサイト <http://k-slim.w3.kanazawa-u.ac.jp>

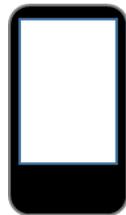
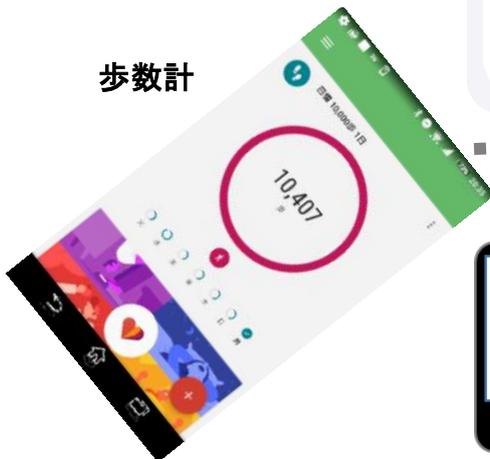
体重計



自宅血圧計



歩数計



アプリで行動記録をサポート



食事写真から栄養評価



オンラインで保健指導

金大など 実用化へ臨床研究開始

金大や芳珠記念病院（能美市）、北陸中央病院（小矢部市）などの研究チームは3日、手軽に健康管理できる「オンライン保健指導」の実用化へ臨床研究を始めた。石川、富山県内のメタボリック症候群やメタボ予備軍の約300人を対象に専用アプリを使った食事指導を実施。人工知能（AI）やIoT（モノのインターネット）を取り入れた新たな保健指導の実現を目指す。

40〜74歳を対象に行われる特定健康診査（メタボ健診）でメタボや予備軍と指摘され、「特定保健指導」が必要になった人は2016年度で約469万人に上る。しかし実際に指導を受けた人は88万人（18・8%）にとどまり、実施率の向上が課題となっている。

研究チームによると、指導が必要なのは多忙な働き盛りの世代が多く、医療機関で保健師や管理栄養士の助言を受けるのを敬遠する傾向があるとの見られる。このためパソコンやスマートフォンなどから利用できる「オンライン保健指導の構築を目指すこととした」。

臨床研究では、芳珠記念病院や北陸中央病院などでメタボ健診を受け、指導が必要になった約300人に半年間、食事管理「タイエツトアプリ」を使った食事指導を実施。血圧や体重、コレステロールなどのデータを収集し、アプリを使った指導のメリットを分析する。

臨床研究は日本医療研究開発機構（AMED）の補助を受け、19年度までの2年計画で進める。金大国際基幹教育院の米田隆教授や金大附属病院の米谷充弘助教のほか、アプリを開発した「ウィット」（東京）、北陸先端科技大学院大などで取り組む。

北國新聞より
(平成30年12月4日)

感染症発生動向

北中かわら版

発行日：平成30年12月17日

編集：広報委員会

公立学校共済組合
北陸中央病院

〒932-8503

富山県小矢部市野寺123

電話 0766(67)1150

FAX 0766(68)2716

おやベケーブルテレビ 「健康サポート」番組

第9回は耳鼻咽喉科部長
丸山元祥 先生の

「アレルギー性鼻炎に対する
舌下免疫療法について」
です。

放送予定は

12月24日(月)

～12月31日(月)

収録の様子



ホームページは
QRコードで検索
出来ます。

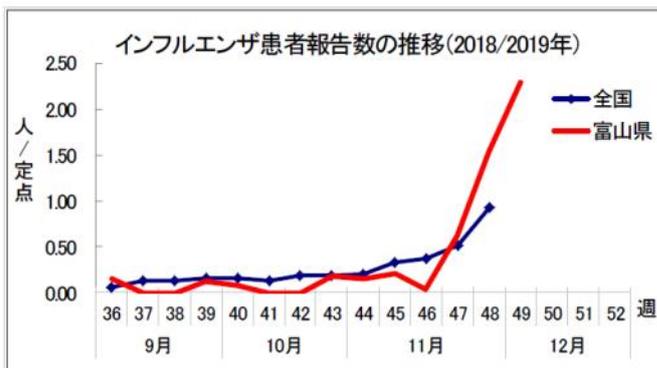
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第49週 (12/3～12/9)：富山県 2.29人/定点

新川 HC (0.43)、中部 HC (1.60)、高岡 HC (1.15)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (5.19)

県内は第48週に定点医療機関あたり1人を超え、流行期に入りました。

今後、しばらくは流行が継続することが予想されます。



インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
現在、下の表によると、A型が96.4%となっています。

第49週 (12/3～12/9)：富山県 2.29人/定点

(単位：件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	3	0	0	3
中部	3 / 5	7	0	1	8
高岡	4 / 13	14	0	1	15
砺波	1 / 7	1	0	0	1
富山市	11 / 16	81	2	0	83
富山県	22 / 48 ^{※1}	106	2	2	110
富山県累計(2018年36週～)		247	4	8	259

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が22か所あったことを示します。
※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 1件 (90歳代、男性)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件 (①第48週診断分：60歳代、男性
②80歳代、男性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (第47週診断分：80歳代、男性、G群)

侵襲性インフルエンザ菌感染症 2件 (①50歳代、女性 ②60歳代、男性)

侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (第48週診断分：80歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	6.97 (↑)	5.76
2位	インフルエンザ	2.29 (↑)	1.54
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.45 (↓)	1.97
4位	咽頭結膜熱	1.38 (↑)	1.34
5位	手足口病	1.34 (↑)	0.97
6位	RSウイルス感染症	0.86 (↓)	0.93

この内容は次のホームページでさらに詳しくご覧いただけます。 <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>